

たのしい広公園

「つぎはこっちのすべりだいからすべるよ。」

花子は、そう言うで一ばん長いすべりだいをいきおいよくすべっていきました。

ほかのともだちも、かいだんを走ってのぼると、花子のあとをおいかけてきました。

土曜日の広公園は子どもたちでいっぱいです。小さい子もおうちの人の人といっしょにあそびに来ています。とくに、新しくできた「つばきのすべりだい」はみんなに大人気です。すべるところがいろいろあるし、ターザンロープやつり橋のようなものもあり、とても楽しいのです。

花子たちもすべりだいで楽しくあそんでいました。

「ここまでおいでよ、はやく、はやく。」

花子は、すべりだいの上からともだちによびかけました。

「ようし、花子ちゃんにおいつくからね。」

ともだちは、すべりだいをぎやくからのぼってきます。ちょうどすべろうとしていた花子は、すべるのをやめました。上にやってきたともだちは、

「すべりだいをあがってくるのっておもしろいよ。もう一どやってみよう。花子ちゃんもおいでよ。」

というと、いまのぼってきたすべりだいをすべっていききました。

そのとき花子は、今日の朝の会での先生のお話を思い出していました。

「公園であぶないあそびかたをしている人がいるよう

です。ゆうぐであぶないことをしている人もいるよう
うです。あそびかたをかんがえてあそびましょう。」
ともだちのように、下からのぼったたら、すべろうと
する人とぶつかってしまいます。

すべりだいをすべっておりました花子は、

「あぶないからやめようよ。」

とおうと思いましたが。でも、なかよしのともだちに
そんなことをいったら、いやなかおをされそうです。

ともだちはすべりだいをのぼって行きます。上から
すべろうとしていた小さな男の子はすべるのをやめま
した。上についたともだちは、男の子がまっていたの
に、先にすべりだいをすべりおりてきました。そして、
「花子ちゃんもしようよ。」
と、またすべりだいをのぼっていかうとしまし
た。

(どうしよう。)

しばらくかんがえていましたが、花子は、おもいき
って、ともだちにいいました。

「すべりだいをのぼっていくのはあぶないよ。それに
上からすべろうとする人がすべれないよ。」

ともだちは花子をじっと見ていました。そして、に
っこりわらうと、

「花子ちゃんのいうとおりだ
ね。あぶないことはもうし
ないよ。」

と、ゆびきりしました。

